

1. 件名：「島根原子力発電所 2 号炉の地震等に係る新基準適合性審査に関する事業者ヒアリング(136)」

2. 日時：令和 2 年 8 月 2 6 日（水） 1 3 時 3 0 分～ 1 6 時 0 0 分

3. 場所：原子力規制庁 9 階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：内藤安全規制調整官、江寄企画調査官、熊谷管理官補佐、
佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、服部主任安全審査官、千明主任安全審査官、海田安全審査専門職、菅谷技術研究調査官、磯田係員、日南川技術参与

中国電力株式会社：山田常務執行役員 他 1 0 名

（テレビ会議システムによる出席）

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・ 島根原子力発電所 2 号炉 耐震重要施設及び常設重大事故対処施設の基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価（コメント回答）
- ・ 島根原子力発電所 2 号炉 耐震重要施設及び常設重大事故対処施設の基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価（補足説明）
- ・ 島根原子力発電所 2 号炉 コメントリスト（地震・津波関係）

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	いや、
0:00:04	規制庁のクマガエです。
0:00:07	それではこれから、
0:00:09	重要施設及び常設重大事故等対処施設の設置地盤及び周辺斜面の安定性評価についてヒアリングを始めたいと思います。
0:00:17	よろしくお願いいたします。
0:00:25	はい。中国電力の寄りでございます。それではまずは資料確認の方からさせていただきます。
0:00:33	本日資料 3 部でございます。まず市右肩資料番号 068 階 02 のコメント回答資料、
0:00:42	そして資料番号右肩の 06 崩壊 02 の補足説明資料、
0:00:51	そしてコメント回答へと地震津波関係の資料でございます。以上 3 部でございます。
0:00:58	はい、規制庁クマガエです課金できました。またよろしくお願いいたします。
0:01:05	はい。中国電力の入江でございます。それではご説明させていただければと思います。大きな変更点を中心にご説明したいと思います。22 ページをお願いします。
0:01:21	こちら参照で基礎地盤の安定性評価のパートでございますが、基礎地盤の安定性評価につきましては、論点構成を再整理しまして、P22 ページからは並びは構成を見直しをしております。まず 22 ページは評価フロー全体概要ということでお示ししているものでございますが、
0:01:41	フローの一番上評価対象施設の抽出へとグループ分けということで、これもともと詳細フローの中に入っていたものなんですけれども、詳細フローの外に出して、まず一番最初にまずこれを行うんだということを明確化しております。
0:01:59	次にグレーの点線になるんですけども、評価フローの詳細の範囲ということでこちらを明記するようしております。
0:02:09	また全体からのフローの一番左側滑り安定性評価のフローになりますけども、こちらで赤字でお示してます通り、液状化影響検討考慮した滑り安全率も確認することを追記しております。
0:02:24	23 ページお願いします。
0:02:31	見開きの 23 ページ 24 ページにつきましては、詳細フローのからとそ出しを行いました。評価対象施設の抽出と、グループ分けの資料でございます。詳細フロー前に資料として送るようにして、まずグループ分けまで行う流れとしております。

0:02:49	25 ページをお願いします。
0:02:55	こちらは詳細の評価フローになってございます。フローのスタートでございませ けども、グループ分けまで完了した段階でフローが始まるように修正を行って おります。またフローの上から二つ目でございます。①番の影響要因でござい ますけども、
0:03:13	基礎地盤の岩級Ah系統ということで修正を行ってございます。
0:03:19	こちらは基礎地盤が特徴的なもの、地形が急傾斜等がございましたが、今ま では影響要因とは別項目として整理をしてございましたが、
0:03:29	施設直下の基礎地盤に関連する内容ということでわかりやすさの観点から影 響要因 1 に含めるように変更を行ってございます。この変更に伴いまして教員 の各施設の番号を付与するについても若干変更になってるところがございま すので後程ご説明したいと思えます。
0:03:49	また、上から二つ目のフローのポツの二つ目でございませけども、防波壁の検 討断面の設定についてこちらに追記をして、赤字で追記をしてございます。
0:04:00	こちらは評価対象断面の選定にもともとあった記載をこちらに移動させてきた もので、代表施設の選定の際に比較検討を行います。防波壁の波が日重力 擁壁でございませたり、逆T擁壁につきましても、同じような検討断面の考え方 を適用しておりますので、
0:04:19	このような修正を行っております。
0:04:23	さらに下のフローの分岐でございませけども、影響要因が最多のものが代表 施設として選ばれるようなフローになってございませますが、米三ということで、最 短のものが複数ある場合は、簡便法で決定しますということを明記しておりま す。
0:04:43	最後、フローの一番下から二つ目のフローでございませますが、滑り安全につい て、5 を上回ることを確認することに加え、支持力と傾斜につきましても、追記 を行っております。AND条件ということで、いずれかがNGな対策をとの検討 が必要なフローになっております。
0:05:04	26 ページは先ほど申し上げました影響要因一応変更したのでその内容につ きましても赤字で追記修正を行ってございます。
0:05:13	27 ページをお願いします。
0:05:19	これ 27 ページは、防波壁の検討断面の設定の考え方ということでもともと後 ろにあった資料でございませけども、先ほどのフローの対応フローに対応しま して、評価対象断面の選定選定のパートにあった資料なんですけども。
0:05:37	すべての防波壁に関連するようにリバイスをした上でこちらに持ってくるよう にしております。
0:05:43	30 ページをお願いします。

0:05:51	30 ページはグループの比較検討結果の一覧表を示したものでございますけども、2 号の排気塔でございましたり、防波壁波が 46 擁壁につきましては、
0:06:03	先ほどのフローの変更に伴いまして、影響要因 I 基礎地盤の岩級地形等のごとくに、基礎地盤が特徴的といった文言を追記して、ハッチングを付けるようにしております。これに伴いまして、該当する影響要因につきましても①番ということで新たに番号不要としております。
0:06:23	この番号付与に伴いまして、2 号の原子炉建物だったりタービン建物と並んで同率になりますので、選定の際には簡便法も踏まえて決める旨を選定理由のところを追記をしております。
0:06:39	以降 31 ページから 46 ページにつきましては、これらの変更に伴いまして、GroupAB の各施設の比較検討結果をお示ししてもございますが対応するように修正をしております。説明は割愛させていただきます。
0:06:54	48 ページをお願いします。
0:07:03	48 ページは、防波壁多重交換後意識擁壁の検討断面の設定及び比較結果ということで、周グループの比較結果を記載したものでございます。箱書きのポツの一つ目でございますが、基礎地盤安定性評価の観点から、
0:07:22	一般部及び取水炉横断部の二つに構造区分されるということで、
0:07:28	下の縦断面図の上側にお示しておりますように、もともとは防波壁の耐震評価に合わせて六つのくぼんということで、一般部、取水炉横断部以外にも施設護岸 Maeda 支部でございましたり六つの区分をしておりましたけども、
0:07:44	今回基礎地盤の安定性評価の観点では、構造上は二つの区分ですということで、変更を行っております。
0:07:53	詳しくは 49 ページということで 49 ページをお願いします。
0:08:03	こちらはその構造区分の考え方を記載したものでございます。箱書きのポツの一つ目にありますように、施設の構造、施設重量杭底面幅根入れ長か、基礎地盤安定性の評価の観点からは、
0:08:19	この三つの項目は影響要因に関連する項目ということで、これらに着目して区分すると、一般部、州立ちゅ水路横断部ということで、下表の通り整理して区分しております。
0:08:33	この区分に伴いまして、もともと施設護岸ばい出し部等もございましたが、基礎地盤安定性評価の観点からは一般部にも含まれるという形で整理を行っております。
0:08:46	また下表の図でございますけども、地盤安定性評価上考慮する施設地盤のみ記載するように修正を行っております。これらの整理の詳細につきましては補足説明資料の八章のほうに追加で資料をつけまして整理してございますので後程ご説明させていただきます。

0:09:07	50 ページをお願いします。
0:09:13	50 ページからが多重鋼管杭式擁壁の検討断面の設定の詳細を記載したものでございます。
0:09:20	先ほどの施設区分を踏まえまして断面選定を行うような流れになってございますが、まずポツの一つ一つ目で一般部のうち、宿直はCM級岩盤となってる範囲でシームが多く浅くなってるということで、1-1 断面を設定するようにしております。
0:09:38	ポツの二つ目で、同じく一般部のうち、埋戻度相当が最も厚くなっている範囲ということで、同様にシームが多く浅くなっている 1-2 断面を検討断面に設定するように記載しております。これらの断面位置につきましては前回のヒアリングから変更を行っておりません。
0:09:57	51 ページをお願いします。
0:10:06	こちら三つ目の断面ということで一般部の中で防波壁が施設護岸よりも前に位置しておりまして、防波壁前面の基礎地盤がないことでせん断抵抗力が低くなると考えている。
0:10:20	13 断面ということで検討断面に設定をしております。
0:10:24	こちらは防波壁前面の基礎地盤がないということが基礎地盤が特徴的な箇所ということで断面選定を行っております。もともと前回部屋でも断面位置として選定したものでございます。
0:10:39	52 ページをお願いします。
0:10:45	もう 12 ページは、11、IP4 断面でございまして主水路横断部から選定している断面でございます。若干わかりやすさの観点から記載を見直しておりますけども、断面位置等の変更を行っておりません。
0:11:01	これらを踏まえましての整理でございますけども、ちょっと資料戻って 47 ページをお願いします。
0:11:14	先ほどの検討断面 I-1 から 4 の断面を確認した結果の整理をこちらに記載してございます。最も厳しい緒元というのを表で一行で記載したものでございませうけども、13 断面につきましては、施設護岸よりも前に位置しており、排気の前面のせん断、
0:11:34	これから低くなるということで、影響要因の①の基礎地盤が特徴的ということで考慮して追記してございます。
0:11:42	これに伴いまして影響要因、①についても番号不要するように、多重交換方式については変更を行ってございます。
0:11:51	53 ページをお願いします。

0:11:58	53 ページからが強姦の意識約T擁壁の系統だめの設定比較結果でございますが、こちら基礎地盤安定性評価の観点から区分を見直してございまして、一般部等防波扉部の二つに区分されるように見直しを行ってございます。
0:12:17	54 ページをお願いします。
0:12:23	54 ページにはその構造ごとの区分を記載してございまして、縦断方向に施設を確認した結果、ポツの一つ目でございますけれども、杭底面幅杭根入れ長につきましては、縦断方向で同様でございますが、
0:12:39	施設の工場構造、つまり施設重量に関連するような構造が異なるということから、一般部と防波扉の二つに区分をしております。
0:12:50	以降のページはこれに関連する推定と修正でございまして、簡便法における施設重量の考慮について追記を行ってございまして、説明につきましては割愛させていただきます。76 ページをお願いします。
0:13:14	76 ページが2号炉原子炉建物東西断面のモデル図でございます。このページで特に修正を行っておりませんが、入力地震動の評価における先日の地盤不整形の影響の説明におきまして、
0:13:31	1次元と二次元の応答スペクトルの有無の違いにつきましては、地盤の不整形性ではなく、山地の地形が影響しているとの結論を聞いておりますので、このページで地盤安定性への影響を説明したいと思います。
0:13:46	これモデル見ていただきますと、モデルの両端部に山地形も含めてモデル化されて、十分範囲が取れているようになっておりますので、山地の音への影響も含めて考慮したモデルになってございます。
0:14:00	155 ページをお願いします。
0:14:11	155 ページからが6章ということで周辺斜面の安定性評価のパートでございますが、消化フローの全体概要ということで基礎地盤の安定性評価に対応するものを新規作成してございます。
0:14:25	基礎地盤と同様、詳細のフローの中にもともと入っておりました。上から二つ目の不flowでございますけれども、恐れのある斜面の網羅的な抽出でございまして、グループ分けについては、詳細フローの外に出すような変更を行ってございます。
0:14:42	156 ページをお願いします。
0:14:49	156 ページは、耐震重要施設に影響する恐れのある斜面の網羅的な抽出の資料でございますけれども、2号炉南側森どの西側にあります岩盤斜面、こちらの離隔距離を追記してございます。十分離隔距離があることを確認してございます。
0:15:07	159 ページをお願いします。

0:15:19	159 ページは斜面の詳細フロー、詳細評価フローになってございます。基礎地盤と同様にグループ分け完了をスタートのフローになるように修正を行っております。
0:15:32	また、赤線で書いておりますけども、対策工事実施してる 2 段目、2 号の西側切取斜面につきましては、対策を行っているので評価対象断面にLavaれるというふうにフローの見直しを行っております。
0:15:47	176 ページをお願いします。
0:15:56	176 ページは評価対象斜面の選定結果を平面図でお示したものでございますが、先ほどのフローの修正に伴いまして、2 断面をだめ 1 追加してお示してございます。
0:16:09	188 ページをお願いします。
0:16:18	188 ページは周辺斜面の安定性評価における地下水の設定方針を記載したものでございます。
0:16:25	今回後程説明を行います液状化影響検討におきまして、滑り安定性も追加で行うことにしておりますので、若干それに対応した記載の見直しを行っております。
0:16:38	189 ページをお願いします。
0:16:44	189 ページから 192 ページにつきましては、液状化影響検討で用いる推移ということでもともと液状化影響検討の方にあつた資料を前のほうに持ってきておる、おります。内容については変更しておりません。
0:17:00	210 ページをお願いします。
0:17:09	210 ページからが液状化影響検討のパートの資料になってございます。まず液状化影響検討のフローでございまして、先ほども申し上げました滑り安全率の算定を行うということで、それに対応した修正は赤字の通り行っております。
0:17:26	216 ページをお願いします。
0:17:34	216 ページは、FLIPの条件設定の全体案ということで新規追加した資料でございまして、液状化試験を実施した防波壁周辺のメモ度指導と、2 号炉南側森の斜面の埋戻し度の流動特性を比較した資料になってございます。
0:17:52	左側の粒度分布を示してございまして、黒線が液状化試験を実施した防波壁の周辺の埋戻し度でございまして、赤線が 2 号炉南側森のみ戻し度でございまして、両者の流動特性は同等であることを確認してございます。
0:18:09	217 ページをお願いします。
0:18:17	先ほどの防波壁周辺斜面の埋め戻し同等に号炉南側も井戸斜面の盛り度の粒度特性が同等であるという結果を踏まえまして、

0:18:26	こちら液状化強度曲線を示してございますが、前回ヒアリングでは黄色で点線で書かれておりました液状化強度曲線を用いておりましたが、今回赤線の液状化の審査で用いてる液状化強度曲線でございますが、
0:18:44	こちらを用いるように変更してございます。
0:18:48	218 ページをお願いします。
0:18:54	218 ページからが、液状化強度曲線の変更に伴いますFLIPの再解析結果を示したものでございます。
0:19:04	まずは過剰間隙水圧比の分布でございますけども、のりじりよりも斜面奥側の要素の過剰間隙水圧比につきましては、概ね 0.5 程度ということで緑色でハッチしてございますが、このようになっております。森の斜面部は芯も含めて液状化の可能性は低いと評価できます。
0:19:25	また 0.95 を超えた範囲は、下側の図の見ていただいたほうがわかりやすいんですけども、赤色の範囲になってございますが、のりじりより北側のTP+15メートルタニ達成認められます。
0:19:42	219 ページをお願いします。
0:19:46	219 ページからがのりGRI付近の過剰間隙水圧比 0.95 以上を確認しております。抽出点におきまして、110 ページが有効応力経路 120 ページがせん断応力とひずみの関係、121 ページが間隙水圧比との時刻歴を示したものでございます。
0:20:06	いずれもサイクリックモビリティの様相を呈していることを確認してございます。
0:20:12	229 ページをお願いします。
0:20:21	229 ページからが滑り安定性評価を行う資料になってございます。まず 229 ページが検討条件ということで、白丸で二つを示してございます。まず一つ目でございますけれども、有効応力解析の結果、時等でも、過剰間隙水圧比が 0.95 を超えた要素について、
0:20:41	液状化範囲として滑り面での機動力抵抗力をゼロとして評価しております。
0:20:48	まだ、また、基準地震動の反転につきましては、下図のほうに四つSsDのはけ反転の係数を示してございますが、こちらの赤色ハッチしております過剰間隙水圧比 0.95 以上の班員を重ね合わせた範囲につきまして、液状化範囲
0:21:08	として設定して、滑り安全率の評価を行いました。
0:21:12	230 ページをお願いします。
0:21:19	230 ページが滑り安全率の算定結果でございます。左図にお示しております。水色のハッチ範囲につきまして、先ほどご説明した地震動の反転を考慮した形で 0.95 以上の範囲になってございます。
0:21:33	滑り安全率は 1.61 ということで、滑り安全率評価基準値の 1.2 を上回ることを確認してございます。

0:21:44	以上が本編資料の説明になります。続きまして補足説明資料のご説明をしたいと思います。
0:21:52	補足説明資料の 56 ページ、お願いします。
0:22:02	56 ページは埋め戻し共リードの 3 軸圧縮試験結果を示したものでございます。右下の応力ひずみ関係の図でございますけれども、こちら前回確認がございましたけれども、こちらでも確認した結果、やはり間違いということがわかりましたので張りかえを行ってございます。
0:22:23	57 ページをお願いします。
0:22:30	57 ページにつきましては、埋戻し共里道にお乗りどの回析における発生ひずみの範囲を確認した資料になってございます。新規追加した資料でございます。
0:22:42	まず、耐震重要施設の斜面のうち、2 号炉南側盛り度 66 断面におきまして二次元動的FEMかつ解析結果の発生せん断ひずみ分布ということで、上側にコンター図でお示してございます。こちらを確認した結果、
0:23:00	0.01 から 13%の範囲でせん断ひずみ分布へ必要なひずみが発生しております。大半は緑色ではっきりしております。0.1 から 0.5%の範囲であることを確認してございます。
0:23:16	またポツの二つ目で一般式下に示しております一般式でせん断ひずみから軸ひずみに歓談した結果、せん断ひずみ 0.01 から 13%に対応する軸ひずみにつきましては、0.07 から 9%ということで算定してございます。
0:23:33	こちらの算定結果を下側の図、応力ひずみ関係に黄色の矢印でお示して図示してございます。
0:23:44	120 ページお願いします。
0:23:52	120 ページから 123 ページは隣接施設のモデル化について記載した資料でございますが、箱書きのポツの二つ目に、抽出する隣接構造物については断面上の施設としますということを追記するようにしてございます。
0:24:09	131 ページお願いします。
0:24:18	131 ページからが応力状態に整理した 6 章の局所安全系用局所安全係数図の資料になってございます。131 ページは前回のヒアリングで進行性破壊について確認がございました。
0:24:36	私ヒアリングの中で引っ張り応力自体が小さいということもお答えしてそちらの記載も考えましたが、より確実な評価としまして、静的線形解析を追加実施してございます。131 ページは静的線形解析の検討方法を記載しております。
0:24:54	134 ページお願いします。
0:25:01	134 ページは静的線形解析結果の 1 例でございます。こちらは 2 号炉原子炉建物の南北断面の結果でございますが、局所安全係数分布図で破壊要素が

	連続しているということが確認された 5 断面で静的線形解析を実施してごさいます。
0:25:21	また、この 134 ページでピンク色の線で囲っておりますのが、静的線形解析前に引っ張り応力が発生していた要素ということで囲ったものでございます。これの外側を見ていただきますと、連続するような破壊要素が確認されないため、進行性破壊が発生していないことを確認してございます。
0:25:43	また、この資料の左上に箱書きで安全率を記載してございますが、こちらは静的非線形解析後の応力状態において滑り安全率を算定した結果でございます。大きく低下していないことを確認してございます。
0:25:59	その他の断面につきましても同様の資料をつけて同じような説明をしております。細かな内容につきましては割愛させていただきます。
0:26:09	145 ページをお願いします。
0:26:17	会釈 45 ページは防波壁板重厚看護意識擁壁基礎地盤の局所安全係数分布図でございます。引っ張り応力が発生した要素が水平方向に広がっているということで、こちらの考察を付け加えております。黒点線でCM級、CH級の
0:26:37	境界を示してございますが、ちょうどこの境界付近に引っ張りが出ておりますので、これらの剛性差によりまして地盤応答が変化しているものと考えられると考えられます。
0:26:49	214 ページをお願いします。
0:26:59	214 ページからが発症ということで防波壁の構造概要をお示した資料にございなくてございます。214 ページは、地盤安定性評価において考慮する施設等ということでこちらの整理を行った資料で新規追加したものでございます。
0:27:16	214 ページはなにがし重力擁壁でございまして、防波壁の設計方針における耐震耐津波評価上の各部位の役割、資料参考にいたしまして、下表の右側の列に地盤安定性評価において考慮する施設等追記してございます。
0:27:35	こちらを踏まえまして本編の構造断面に記載する設備だったり地盤だったり、そういったものを整理してございます。
0:27:45	215 ページをお願いします。
0:27:52	215 ページと 216 ページですけれども、防波壁波が日重力擁壁の耐震評価上の区分と本編で説明を行いました基礎地盤安定性評価上の区分の対応を整理した資料になってございます。
0:28:08	同様な資料多重鋼管杭式擁壁逆TYKTにつきましても、それぞれ新規作成して追加してございます。説明につきましては割愛させていただきます。224 ページをお願いします。
0:28:28	224 ページ以降が防波壁の設計方針の審査資料の抜粋ということで最新の 8 月 20 日の審査会合の資料に差し替えを行っております。

0:28:39	以上でご説明を終わります。
0:28:45	はい、規制庁クマガエです。ありがとうございました。
0:28:49	私から幾つか簡単にちょっと確認させてください。
0:28:55	一番最初ですね、県の方の
0:29:01	40、
0:29:07	40、
0:29:08	100 ページのところですけども、
0:29:14	こちらで
0:29:16	2 号の原子炉建物について対象施設に選定すると。
0:29:20	いうふうになってるんですが、先ほど 26 ページの評価フローによると、
0:29:28	影響要因がまた数は、その中で、
0:29:31	簡便法ですべてある程度最初のものを選ぶとあるんですが、ここだとこのページだけですとですね。
0:29:39	該当する影響要因が多いってことはわかるんですけども、その結果どれが代表施設に選定されるのかっていうのはですね、最後のほうで先ほど説明された 41 ページのところ、
0:29:52	さらに
0:29:53	教員が多いもの、それぞれ
0:29:56	示していただいて、安全すべて安全か小さいですよっていうのをですね、71 ページのところ確認できるようになってます。
0:30:06	ちょっとそういう意味ではですね、説明いただいている。
0:30:11	資料構成としてですね、やはりその 26 ページのところ、
0:30:16	代表設備が選定されてるっていう。
0:30:20	もうちょっとフローとですね説明の資料の構成がちょっと違うのかなと思ったんですが、そこについてはいかがでしょうか。
0:30:35	中国電力の油井でございます。
0:30:40	おっしゃるようにフローの流れのようになってないかもしれないんですけど、一応 29 ページのほうに 41 ページ 42 ページ参照ですよということで飛ばしてはいるんですけども、
0:30:50	流れに対応するような、ちょっと資料にどういったものになるか、ちょっと検討してみたいと思います。以上です。
0:31:01	はい、規制庁クマガエです。はい、わかりました。それで、ちょっと細かいところなんですが、41 ページのところ先ほど滑り安全率が
0:31:10	それぞれが書かれてるんですけども、この
0:31:14	一番下の防波壁の何か出力分布溶液の

0:31:18	滑り安全については、42 ページで、
0:31:21	FHな運転が、
0:31:24	示されています。
0:31:25	ただこの後廃棄については、ために幾つかあると思うんですけども、これについてはすべての断面で行われてるんでしょうか。それとも、このF1 断面だけ行われてるんでしょうか。
0:31:41	はい。中国電力の有利でございます。簡便法につきましては防波壁波が日 16 駅ではF1 断面のみ行っております。それ以外は影響要因の定性的な評価で 2 号炉原子炉建物に代表できると思ってまして。
0:32:00	F1 断面だけ基礎地盤が特徴的ということで、簡便法を行っている次第でございます。以上です。
0:32:09	規制庁クマガエです。なんかそこら辺ってのはどこに記載があるんでしょうか。
0:32:21	中国 38。
0:32:24	はい。中国電力の有利でございます。記載につきましては、ページ数で言うと 38 ページのほうに、
0:32:31	記載をしてございます。
0:32:35	検討断面振っからF-1 から 3 の断面を設定して、定性評価と、あと簡便法の話に記載してございます。以上です。
0:32:48	はい。
0:32:49	御説明わかりました。
0:32:52	それではねと。
0:32:59	はい。
0:33:00	あと、
0:33:02	51 ページのところで、
0:33:05	今回この多重交換、
0:33:08	ヤマダのところの断面について、
0:33:10	1-3 段目Iの 3 段目について、
0:33:15	5 駅が接合がより前に位置するため選定しましたというふうに、
0:33:20	入ってあるんですけども、
0:33:22	この
0:33:25	防波壁がですね、接合がより前に位置してるものについて、
0:33:30	これってのは全部一般部にまとめられてますけれども、このI-3 断面以外にもあるかと思うんですが、
0:33:37	それらの中でこの間に 3 段目ってような考え方についてはどちらかされまずでしょうか。

0:33:49	はい。中国電力の予備でございます。ちょっと資料上はないんですけども、基本的には前出しの中で、地質状況をほとんど同じということで、その中でI3断面を設定しております。
0:34:09	成長クマガエです。
0:34:10	まずこの廃棄の施設も入る前にいつ場所っていうのは、
0:34:17	ちょっとこのI-3断面の箇所と、
0:34:20	あと一般部②のところの左側のところが出てるかと思うんですけどもそういったところ、その二つでよろしいでしょうか。
0:34:31	はい。中部電力の入江でございます。おっしゃる通りでございます。
0:34:38	規制庁クマガエです。
0:34:39	そういった時にそれらの断面の中の中でI-3断面が、
0:34:45	やはり
0:34:46	算定できるんだっていうような、
0:34:50	何か確認できる資料とか場所があるんでしょうか。
0:35:03	はい。中国電力の油井でございます。基本的にはこの多重工学式擁壁の中で一番厳しいと思ってるのは、保管の断面でございます、比較検討の観点から、
0:35:21	前の前に施設及び施設護岸よりも前に防波壁が出ているものの中で、断面を選んでます。ただちょっと白井資料にその辺の記載がありませんので追及を検討したいと思います。以上です。
0:35:37	はい、わかりました。
0:35:46	その続きをいただいたということなんですけども。
0:35:49	静聴泊ですけども、どのような形で
0:35:53	考え方について持っておられるのか、そこら辺についてもちょっと今説明できる範囲でお願いいたします。
0:36:05	はい。中国電力シミズです。基本的には51ページに書いてある通りでございます、一般部の中で地形的な影響ということで前に出ているということを全一定選定理由としておりますので、この段階においてはあんまり
0:36:23	下の地質状況とかですね、そういったものよりは位置関係を重視してこの断面位置としてはここを選んでいるというような状況でございます。以上です。
0:36:39	静聴クマガエです。防波壁
0:36:43	甘え日てるっていうところがまずどこにあるのかということはその中で、予算だめここ選ばれたっていうのは、
0:36:52	前てる中でも、予算だめなんだっていう考え方があるかと思うんですけども、それについてはいかがでしょうか。

0:37:00	地形がところは同じだったというような話ですけれども、その中でどうして1の間の3段目のこちらですよ。
0:37:18	はい、はい、はい。中国電力の野依でございます。先ほどのシミズの繰り返しになってしまいうんですけれども、基本的には日別互換よりも前に出てるところでどこか断面をとということで、I3を設定した次第でございますので、
0:37:36	それ以外、
0:37:40	なかなかちよつと、はい。それがすべてでございます。以上です。
0:37:50	規制庁クマガエです。
0:37:52	ちよつとそこら辺の考え方についてはちよつと私の、また資料がいっぱい見させていただけますね、検討させていただきます。
0:38:08	成長クマガエですね、あと、続きましてちよつと
0:38:13	液状化影響のところについてなんですけれども、
0:38:24	送り状海峡のところ、水の設定等についてですね。
0:38:29	液状化影響で評価する際と、
0:38:33	安定性評価、斜面の安定性評価で評価する推移を変えられると。
0:38:38	設定の場所変えられないというのがあるんですけども、その考え方についてもう一度ご説明いただきます。
0:38:49	はい、中国電力の柏です。
0:38:52	まず液状化影響で検討するし、腑につきましては、公開の資料の中で、
0:39:01	なんでしょうか。
0:39:03	88ページのほうに記載してございますがこちらにつきましては、次のページ以降に
0:39:11	産地の液状化、地下水位低下設備を考慮しない場合の保守的な条件での3次元の結果、そのあと191ページ以降にこれまでを観測結果、こちらをつけておりますが、これを
0:39:27	包絡するような形で、浸透流解析の結果が二次元の浸透流解析を今回新たに実施しましてその結果を初期水位として設定しております。保守的にこちらでもですね、補充を保守性を持った数字だというふうにご検討しております。
0:39:44	で、もう一方のいわゆる通常的安全率を出す水安定性を評価するときの線につきましてはこれまでの審査でも太細と先行審査の実績でございますが、地表面っていう設定するというような考え方で全力で応力を、
0:40:01	伝応力での解析に基づき頑張って設計するというのでやっておりますので、こちらで使い分けを行っておりますが、いずれも保守的な条件ということには変わりはないのではないかと考えております。

0:40:17	ご説明ありがとうございます。
0:40:23	あと、
0:40:25	それからこの 214 ページのところで、
0:40:29	二次元
0:40:31	浸透流解析の
0:40:33	低透水
0:40:35	層ですね、その時の
0:40:37	三次元浸透流パイプの上回るという評価をされて、そこで、
0:40:42	その保全のため、地下水位低下対策として、2 号炉南側森と斜面の
0:40:48	レベル排水ドレーンを設置すると、これは念のためと記載されてるんですけども、この以浅トレインの位置付けについて、
0:40:59	どのように考えてらっしゃるのかっていうのをちょっと教えてください。
0:41:05	はい。中国電力の鹿島です。江藤久米田の中のポンチ絵でございますが 214 ページの方に日といろいろ破線です、排水ドレンが絵を書いております。今後の後段で審議されます、敷地内の地下水の
0:41:20	評価について審議される予定だと思いますけれども、こちらの中で、万が一 COM1000 億上回るような評価結果になった場合には、この緑の位置までは必ず下げるような経過対策設備を講じようと考えております。以上です。
0:41:37	規制庁のクマガエです。
0:41:40	といいますとこの地下水位低下対策のこの排水ドレンというのは、その効果を期待した形での
0:41:49	今回説明になってるということでしょうか。
0:41:52	念のためというのはどのような
0:41:57	はい。中国電力の鹿志村です。現状考えている条件ではこれ以上上がるようなことはないというふうには考えております。ただ万が一地震等がやっぱりですね、より保守的な条件ということで、こちら側の状況、今後の詳細設計の中に出てきた場合には、
0:42:15	今の設定しているし、地下水よりも上がらないように対策を講じたいと思っております。
0:42:36	成長のクマガエです。つまり
0:42:39	現状では特に排水ドレーンについての効果を期待してないということよろしいですか。
0:42:45	はい中国電力シミズです 215 ページ見ていただければと思います。
0:42:53	この図の中に書いてあります緑の線がですね、先ほどご説明しております検討用の地下水ということです。位置的なものを見ていただきますとのりグレーリ

	一のレベルぐらいに水位があろうかと思えます。こういった推移ではあるんですけど、これ以上あることはないというふうに思っているんですけど、
0:43:13	念のためということで、その中の 214 ページに示してあります緑のところ、こういった設備を追加取得ということでございます。
0:43:29	はい、規制庁クマガエです。
0:43:31	はい、考え方についてはわかりました。
0:43:46	まさ規制庁ナイトウですけれども、何か細かい点からスタートしちゃう構成の部分。
0:43:53	はい。
0:43:54	年前と変わってないのかもしれない 25 ページのフロー操作フローの歴史ロストの四角のところ、
0:44:02	d目安っていうか、基準値をした例。
0:44:08	母校以内かつつていうところでNoもところで、
0:44:12	代表者様。
0:44:13	聞こえて参りたいし、対策候補、
0:44:16	等の検討を行う。
0:44:19	二つ目のポツが出し設定しながら質のうち影響の関係で、観点から次に評価は厳しいと考えると対処し設定するとなってるんだけど、
0:44:28	この基準を満足しなければこのままするのにと。
0:44:33	基準を満足しなければいいと対策工、それについては検討をする。
0:44:41	ということで、それをまずはオミットしてしまって、次のやつを来御説明ラブって書いてあるんですけど、やったことそれでいいんですか。
0:44:51	ここ通り越し動かないんだけど、対策工事をやったからといって、次のやつが一番厳しくなるかどうかって私なんかよくわかんないんですよ。
0:45:03	はい。中国電力の寄りでございます。普通評価の中で、滑り安全率 1.5 下回ったりとかってというのはなんですけどもし、
0:45:15	Fあった場合ということでこちらに記載しておりますが、代表施設を選んで生かしていくにつきましては、それが本当だった場合は対策の検討をいたしますけども、それ以外の施設については代替施設に代表していたわけになりますので、
0:45:32	都道カイダったらやってここやってないことになります。なのでやってないそのグループの中で、2 番目に厳しかった施設を代表施設に選定して、きちんと確率に評価を実施する意味でどうか行いまして、
0:45:48	それ以外の代表施設に代表整備し、当される施設については、

0:45:56	滑り安定性も含めて代表施設に代表させると、そういった論理構成でございます。以上です。
0:46:03	規制庁ナイトウですけど、その論理構成が行われたけど、
0:46:07	一番厳しいやつを対策工事を行ったわけことによつてですね、これはもう見なくて次のやつを見ればいってという構築わかんない対策工事があったからといって次のやつよりもいいと基準に対して、次のやつが一番厳しいものになる。
0:46:25	という判断をどこでやったんですか。
0:46:28	40億円前後とされてるか超えないから、結果に影響ないんだけどに構成として、
0:46:35	ここで、
0:46:36	対策工事をやるから、次のやつが一番厳しいよね対象にしますってその論理構成とか、
0:46:43	はいで中国電力シミズですちょっと機械がもうちょっと丁寧に書かないかなのかなと思ってます。まず最初の対策工の検討を行うというのは対策工の検討を行った上で、吊り安全率等の基準値が満足することを確認すると。
0:46:59	その二つ目のポツにつきましては、その次の時点のものについて、安定性が厳しいと考えられると書いてありますけど、当然この段階においては、時点のものが厳しいということも確認した上で、こういった今やってるような、
0:47:15	対策を実施していくと対策にはだけ海丘安定評価を実施していくところがかちょっと今実際こういうことになってないので簡略化して書いてますけど、さっき言ったような趣旨でちょっと記載を充実します。以上です。
0:47:34	いや、多分基準を満足しないものがなかったんだよね。結果としてだから、この検討を行ってないんだと思うんですけど、これは頭の体操とか動力工数の整理だけなんですけど、いや、もし基準を満足しないものもあって対策工場や、
0:47:50	やろうというふうになったら、じゃあそれはもう対策工事でオーケーで、
0:47:54	次に厳しいやつを評価代表にしますってそういう頭の整理ではないってことでいいですよ。
0:48:01	対策工事やったものも含めてどれが一番厳しいのかっていうことをきちんと代表選定をした上で、代表を選びますってそういう論理構成ということでいいですよ。
0:48:12	はい中国電力シミズです。はい、おっしゃる通りです。そこらちょっと記載充実します。
0:48:21	はい。桑川委員も。
0:48:27	僕も超えてはいろいろなことも多いとって、
0:48:31	さっき

0:48:36	説明以上でよくわかんなかったんだけど、この間説明を聞いたときでいうと斜面とか地形の影響を受けるから回析
0:48:43	断面、
0:48:46	は大丈夫ですと、入ってますって言ったならこれは新しくP直したそれと前から入ってる持ってたんでしょうか。
0:48:57	はい。中国電力の野依でございます。結論としては前からモデルの中に入っております。おっしゃってる76ページのことだと思いますけども、2号炉KC医療建物東西断面は、最初からサチも含めてモデルに入っております。以上です。
0:49:19	本動きはいいんだけど、照明とか地形が依拠するのは、
0:49:27	間に高10mバック系等、
0:49:32	電源建屋とかその辺も、
0:49:34	前の地形モデルからは可搬式設備から変えてないってことですから、モデルは一切今までもちょっと書いてないってことですか。
0:49:44	中国電力の乳井でございますおっしゃる通りでございます。
0:49:48	以上です。
0:49:50	規制決まると思いますけども、こういうものと、
0:49:53	ていうのを、
0:49:58	これコミック評価の話です。
0:50:07	本
0:50:08	論理構成効力を書かなかったんだけど、
0:50:11	地盤っていう、もう
0:50:15	もう斜面安定のもので、水としては、
0:50:21	地表に持っていきますということで、そういうの修正を担保しますっていう部分。
0:50:28	ですよね。
0:50:30	で、地盤のところについてを主として、羊蹄施設とかも担保をとるから液状化を行うという気浄化についてもしないという方法で、
0:50:45	もうかなりのところについては、何で基準化を考慮しないでいいんですか。
0:50:52	押してるんですか。そこはよくわからなかったんだけども。
0:50:59	はい。中国電力の鹿島です。
0:51:02	斜面について液状化を考えなくていいというふうに結論に至った理由としましては、この度FLIPで、
0:51:12	液状化をするかどうかというのを解析をした結果、過剰間隙水圧の分布状況、これらを見た上で、液状化をするような結果にはなってないかという解析

	結果をもっても、液状化をしてないというふう結論づけております。ただ念のため、
0:51:29	仮に液状化して強度が発言されないという状況も想定した上で滑り安全率の検討もして、所定の滑り安全率があるということを確認しております。以上です。
0:51:47	ちょっとあれですけど、それって冷凍平板のところも前面のところでお話をされてんだと思うんですけど、斜面自体をもう地表面まで、
0:52:01	次は持っていきますと、だけど、
0:52:04	劇場は考慮しないんです。
0:52:07	ポストというその論理構成をよく説明してもらえますか。いや、水位を地表まで持っていくってことによって何に何を保守的に考えることができるとして、水位を地表まで持っていったらという考え方っていつのか、
0:52:24	そのうえでなんで液状化は考えなくて、この斜面の部分について考えているか。
0:52:31	ていうとこ、
0:52:34	所決壊わけですよ。その部分がどういう論理構成なのか、今ひとつよくわからないんですけど。
0:52:44	はい。中国電力の鹿志村です。ちょっと説明が繰り返しになるのかもしれませんが、まず、液状化についても、保守的な推移をもって検討した上で、有効応力解析によって地震液状化するかどうかというのを確認した上で、
0:53:02	引き力をしないというふう今回整理しております。あわせて、いわゆる前応力解析で通常やるフラッシュでの解析につきましては、ここは有料でやると解析をするということで、
0:53:18	より重たいもので、ゆするといいますか、慣性力大きなもので評価するということで保守性のある条件として、の甘さで結果も検討するということを我々蓄光の結果としてはそれを地表面に地下水を設定してというふう整理しております。ちょっと
0:53:35	こちら液状化影響検討とより全応力の解析の滑り安定性検討、こちらは切り分けて整理しております。
0:53:43	以上です。
0:53:44	規制庁の規制庁ナイトウですけども、答えになってなくて、
0:53:50	なんで、地表斜面の該当部分のところについては、地表面まで保守的な設計とするために、地表面に地下水位を設定をしますとしている一方、
0:54:05	検討用地下水を設けてあげて三枚の部分については地下水がないものとして液状化の対象から外しますとしてるけど、このロジックがよくわからない。

0:54:23	そもそものアクセスの間でそもそも論として地表面に地下水を設けますということに関しては、何を保守的に解析するために地表面に設けてですか、その中国電力ちやうとまず教えてもらえませんか。
0:54:37	はい。中国電力シミズです資料の 188 ページ見られてるかもしれませんが、先ほど来説明したところ、ところの資料でございます。まずポツの一つ目で書いてありますのが、周辺斜面の安定性評価では保守的な評価となるよう地下水流地表面とした荷重条件法は、
0:54:57	流量で安定解析を実施すると。これがナイトウさんがおっしゃられる何を保守的に設定したかというところで、先ほど鹿島が言いました通り、ここにこの地下水位以下の重量に、岩盤であり、それからもうリード斜面でありこういった重量を時
0:55:15	流量よ水を含んだ重量ですることによって保守性を担保して、安定解析を実施すると。その線が下の断面イメージ図のほうに書いてあります。青い実線のほうになります。引き出しで書いておりますけども、
0:55:30	周辺斜面の安定で評価では先方との実現を含め、悪魔地下水を地表面設定したと言われて実施しますとこれ先行サイトもこういうふうにやっていますのでやって、こういう評価を実施しています。一本モールド斜面につきましては、
0:55:45	先ほど周辺斜面も一緒なんですけど、本来は地下水というのはかなり低いものだと思っておりますけども、これをよりも現実的というか、二次元浸透流解析の解析によってやった結果でこの青い点線のほうを、
0:56:02	確認して、液状化しないということを確認しているということです。まずナイトウさんのご質問に対しては、最初のポツの一つ目に書いてあります通りは重量ですということをもって保守的に考えているということでございます。以上です。
0:56:21	規制庁ナイトウです保守的にということについては、授業を保守的に設定をするというだけですね。
0:56:29	はい、その通りでございます。
0:56:32	持ち越すについてはどうするのかっていうことに関しては、だってこれ締め切っちゃ作業をマーケティングとか両町から地下水がどうなるかってことについては現状わからないので、見通しとしての部分で浸透流解析をやるということと、
0:56:52	あとはこれで表 1 番手の場合とかについては、揚水しますっていう話になっていて、それについては今週は地下水監視するっていう形になってるんじゃないんでしたっけ。
0:57:15	はい中国電力シミズです。100 ページご覧ください。
0:57:29	100 ページが基礎地盤の安定解析における地下水の設定方針ということで書いております。

0:57:37	下の下の方の段イメージ図見ていただきますと、基礎地盤で徹底する地下水のSEC設定というのは青い暗点線で記載しております。この段階においては、まず地下水位低下設備というものを無理期待していなくて、
0:57:54	周辺の森土砂面等につきましては青い点線のように地表面で設定するということになっておりますのでこの段階で基礎地盤と斜面とEUものについては整合しているものというふうに考えてございます。以上です。
0:58:14	野球でそういうことを規制すること聞いてなくて、
0:58:18	これね、
0:58:23	範囲で強化のほうの話の話なったけど、
0:58:28	ほかのことについては、用水施設を
0:58:34	中国電力さんもつけるって要するに期待するって設計方針ってことでまずいんですよ。
0:58:43	はい、中国電力シミズです。施設についてはそのような考えでやっております。以上です。
0:58:50	桐島ですけどとか要請してきたりすることは佐賀施設自体も対象になっていくし、このところの水自体も監視をするってことになってるんじゃないですっけ。九州電力さんは今どういう局の形としてますか、先行の女川でいえば、
0:59:06	すぐに監視するって形になったと思うんですけど。
0:59:15	はい、中国電力の義次でございます。今ナイトウさんがおっしゃられた通り中国電力としても、地下水位低下設備を設置する計画としております。
0:59:27	今の現状、6ヶ所程度地下水観測孔がございます。そこで十分低いってことは引き続き観測していくということをご説明をしております。以上です。
0:59:41	SECのナイトウですよそうするとね、この斜面のところどうするんですか。
0:59:47	214 ページのところ、
0:59:50	観測ナンバー6 とナンバー7 はここも水位は観測。
0:59:56	対象になるんですけど7 ですか。
1:00:01	はい。中国電力の義次でございます。そちらについては引き続き継続していくということで今考えております。以上です。
1:00:11	そのことから地下水の監視ということでこのNo.6 とNo.7 の地点についても、これも常時監視対象になる。
1:00:22	という、そういう理解でいいですか。
1:00:27	はい。中国電力の吉国でございます。その理解でございます。どうぞ。
1:00:47	うんおっ津波に起こるところが多いままで解析している地表面地下水位設定しているけれども、
1:00:55	ここ、これよりも高くなった場合についてはどういう対処されるんですか。

1:01:03	はい、中国電力仮称です。214 ページをご覧ください。こちらで
1:01:12	紫の線で記載してありませんがFLIPで設定している地下水の線でございます。こちら書いてございますように、仮にこれを超えるような場合についてはも排水どれを設けることでこれ以上上げないというふうに考えております。
1:01:31	以上です。
1:01:40	規制庁規制庁ナイトウですけれども、いや、いいとね、それでうまくいきやいいんだけど。
1:01:47	駄目だった場合はどうする。
1:01:54	中国電力シミズです。今のご質問は、解析上今後工認段階で統合する当社の方からご説明する地下水が、当然地下水位低下設備というのを期待したものが、この水位よりも大きくなったらどうするのかというご質問でしょうか。
1:02:14	つまりここですけれども、2.5 倍のこと言っているんじゃないで、この斜面のところは駅水位が上がってこないから、皆さんの今の説明は今も低いままですと、想定した解析結果でも水位は上がっていません。
1:02:33	という話で、
1:02:37	だから、斜面のところについては、K浄化のことについてを考慮する必要がないんですという論理構成と取り返してたけど、仮にここの部分で打って出て、No.6 とNo.6 は長時間そこんでしょうか。ここの水位が今想定してる地下水よりは上がっちゃった場合についてはどうするの。
1:03:05	すいませんと何度も質問してるんですけど上がっちゃった場合というのは実態としては終わったということを言われているのか、解析上の結果としてわかったというのはちょっとどちらかがよくわからなかったんで教えていただけますか、THAIとして解析を予測だから。
1:03:22	予測が正しいかどうかということについては観測をするってということなんでしょ。
1:03:27	予測だから、違った場合についてあり得るんだけど、じゃあ実測をだから実測をするって話になるはずなんだけど、実測のところではわかつちゃった場合はどう対応されるんですか。
1:03:45	現時点ではこういった保守的な水条件で解析をしても上がらないということをお示してるつもりなんですけど、これが仮にあったときにどうするかとそういったことを今おっしゃられてると理解したらよろしいでしょうか。
1:03:59	設置許可のところ等で、液状化斜面の部分については液状化起こらない形で解析をして斜面安定社会っていうのもあってますけど、余っちゃった場合については、設置許可で確認して逸脱するんだけど、その部分については1件100万設置許可違反ということで、
1:04:18	運転停止命令を出してもいいというふうに理解ですか。

1:04:32	すいませんちょっと設置許可な命令違反というのが、IEEE違反命令というのがちょっとどういったものが、よくわかってないところがありますけど、基本的には上がらないというふうに思ってますので、
1:04:47	そのようなことはないとは思っておりますけど、それでこの審査の方は、
1:04:55	するのであればそれも一つの答えかなというふうに思っております。以上です。
1:05:00	規制庁ナイトウですけど、頭の体操ほんとはどね、赤丸とd等想定されるから、その先のことを考慮しませんっていうのは最近の反省でやめましょうってなってるんだけど、その事業所のスタンスは、いや、評価上いいからその先のことは考えませんっていうスタンスのままという理解でいいですか。
1:05:39	はい。中国電力シミズです。先ほど 214 ページの資料でございますけど、そういった意味でこの念のためというのを
1:05:50	のための排水ドレントイレっていうふうなものを考えているところもございますのでこの位置付け等も改めて整理してですね、これを期待することによって、先ほどナイトウさんおっしゃられた頭の体操については、これ以上上がらないという整理をしたいなというふうに考えております。
1:06:11	以上です。
1:06:30	我々としては、
1:06:38	行政報告され、
1:06:42	決算をさせる。
1:07:00	規制庁ナイトウですけども、まず最初のステップとして言うと、瓦COして水がないことを、よりどの滑り面に該当するようとか、今設定しているFLIPで解析している地下水検討用地下水よりも、
1:07:18	わかっていないということについては、これは常時監視すると、そういう理解でまずそこはいいですか。
1:07:30	はい。中国電力の義次でございます。No.677 につきましては常時観測しておりますのでそのRIご理解でよろしいかと思えます。以上です。
1:07:43	規制庁ナイトウです。レートに検討用地下水よりももう人の部分に地下水が上がっていないということについてこのNo.6 とNo.のほうを観測していれば恐れがある。
1:07:58	監視ができるという理解でいいのということで、
1:08:03	ですか。
1:08:08	早田中国電力シミズです 214 ページ見ていただくことわかる通りですねNo.6 については、整う理事 1 にちゃんと押さえられているということが確認できてますし、No.7 については一部岩盤の中まで入っていますけど現状推移としては岩盤の中に入ってますので、

1:08:26	こういった傾向が確認できれば、少なくとも 15メートル盤以上のRIのりの中に水がないことを確認できるという積雪になっているというふうに考えてございます。以上です。
1:08:53	努力するのが非常に
1:08:56	中国電力のヤマダでございますが、
1:09:00	この
1:09:02	我々としてはですね、この森の部分の設計地下水より上がるという状況が行わある場合に関してはですね、もちろんその液状化ということも考えられますので、運転を継続するということはもちろん考えてない。
1:09:21	わけでございます。ただ6と70継続監視をされていてですね、上がったら止まるのかとかですね。ただ、これをずっと継続監視をされていて、ある程度のレベルになってきたときに、対策をすとか、
1:09:39	そういうことについてはですね、ちょっと今即答をすることは非常に難しいんですけれども、
1:09:46	そういうふうなことをですね、今ナイトウさんからのご指摘を踏まえると、考えていけないといけないのかなというふうには思っておるんですが、その辺をですね例えばマウンテンの条件というふうなことを、
1:10:05	踏まえて書くのがわからないのか、そこら辺についてはですねちょっとちょっと即答しかねるとるところでございます。ただ、いずれにしろですね、ナイトウさんのご指摘のようにこのSEをあがっ
1:10:22	上がっても分婉するのかということは、それは我々としては考えてませんので、そこについてちょっとしっかり色をさしていただきたいと思っておりますし、場合によってはですねその水位が、
1:10:38	上がり傾向になるような場合にはですね、例えば
1:10:45	設備で対応するのか、或いは例えば名義超過しないようにある程度固めていくのかというふうなこともですね、考えていけないのかいけないのかなというふうに今感じているところでございます。ちょっと
1:11:01	回答になっていないようなところもございますが、とりあえず今のナイトウさんへのご質問について、ちょっと今思っているところでございます。
1:11:39	19万トンですけれども、運転をするかって話の中で、設計基本設計としてね、どういう考え方なのかっていうのを確認しているんですけども。
1:11:54	これ浸透流がどういう流れのこの評価の資料ナンバー6の水が雨降って傾向になっているのかっていうのちょっと今すぐ出てこなきゃわかんないんだけど、基本的な考えとしてはこれも同じでして、雨が降って、
1:12:08	そういうこの周辺で降った雨のやつについては、Q地表を底面として森友中、
1:12:19	もう

1:12:20	浸透して下流に向かって流れていく。
1:12:23	なんかだと思わんですけれども、
1:12:28	そうだとすると、この観測点でもリートの部分に、今設計料継続する検討用地 下水よりも来てないってことはいっぱいいるんですか。
1:12:44	そこがちょっとよくわからないんですよ。
1:12:52	はい。中国電力シミズです。推移につきましては 191 ページで 192 ページのほ うに時系列というか、これまで過去 5 年ぐらいのデータを
1:13:05	機械しております。
1:13:09	まず 210-191 ページがNo.6 ということで、1 ページ前見ていただきます 190 ページのほうに断面と平面位置つけております。先ほどご説明しました通りNo. 6 については、
1:13:25	15メートル盤からSEを地下水観測設備、ここを掘っているという状況でござい まして、この水位のほうが、このオレンジのラインですね。
1:13:41	こういったものになります。当然雨がその上の方に記載してありますけど雨が降 ってくると、水も上がるということになっておりますけども、再考するというこ とで、ナンバー6 のほう示しておりますけど約
1:13:55	6.5mばかしの推移になりますんでちなみにここの標高というのは 15メートル でございまして、のりGのりの中には約 10メートル、七、八メートルぐらいの 融度というか地表面までの
1:14:12	Uクリアランスrというふうになってますんで片や 192 ページの方にナンバー7 のデータを示しておりますけども、これは大分 44m盤の高さに設置から設置し ているものでございますけども、
1:14:29	一時的に水位が上がってこれまでもそうは言いながらも、8メートルというこ とで先ほどの 6No.6 に対してほぼほぼ同じようなデータが記載しておりますの で水位が上がれば全然雨が降れば水位が上がるということをとらえてますし、
1:14:49	水位としましても、この二つの観測孔結ぶような感じで、おそらくdターンの はなっていると思いますので、そういったことで、この二つの観測孔で
1:15:04	データの方は水位のほうが
1:15:08	結果を重則の中にそういった水がないということは御石膏確認できるのかなと いうふうに思っております。以上です。
1:15:27	アクセントチュアですけども、URレポこれは今緑で書いてるのねのための造園 工事については、前ものとして考えるんですかね。多分設置するって書いてあ るんだけど、この位置付けが置かないというけど、
1:15:46	うん。

1:15:48	中国電力シミズです。どう時に何年のためないものというところがあるんですけどもちょっと明確じゃないですけども、こういった浸透流解析をするときには当然この施設というのは入れていません。
1:16:09	そういう状況でございます。
1:16:25	モールド斜面なのでかなり透水係数も高い大きいということもありますので雨が降ったらもうすぐ瞬時というか 120213 ページのほうに透水係数、
1:16:37	記載しておりますけど、
1:16:41	それ以外の
1:16:46	しておりますけれども下から二つ目ですねに掛ける 10 のマイナス 1 乗程度のものがございますので、比較的大きなものということで、降ったらすぐ流れると。その中に滞留している者の裏面の 2 の中に滞留するようなものじゃなくて、
1:17:05	自然流下していくようなものというふうに考えてございます。
1:17:20	これはこれ、
1:17:33	規制庁ののですが、入ってない。
1:17:44	規制庁の時ですが、ちょっとすごく細かい話になりますけども、
1:17:50	213 ページに書いてあるもの透水係数ですよって、これでいうと 2-9 のマイナス 1 兆なんで、
1:17:59	かなりリスク投資はいいですし、なんていうんで、
1:18:03	比べるとみたいなものを 114 ページも言えても、
1:18:07	特段あまりそんな効果がないような気もするんや方等々のような感じがするんですけど。
1:18:13	この辺程度ですかね。
1:18:16	ある意味ですね、No.しか今、対応方針としては今排水プレート改定。
1:18:23	もう、
1:18:24	それに限定できるのかっていう、そう効果から考えて、
1:18:30	それで十分といえるのかという。
1:18:33	があるのか一点と、
1:18:36	全部兼ねて先ほどからのクマガエの方からも、ナイトウの方からも出てますけども、
1:18:42	持続ですよ。
1:18:44	例えば、基本的には地下水を視察することがあるならば、
1:18:49	排水努力は必要になるということで、設置許可の中において、これはその前提と結構程度あって制度を、結果 2Eを前提条件として考えるべきなのか。
1:19:05	それとも、あくまでもこれは必要に応じて考えている程度の話とか、そういう点のために、この辺がですね、あまり

1:19:14	曖昧な感じがするんですね。本件について、もう一度、
1:19:20	説明いただきたいんですが、いかがでしょうか。
1:19:25	はい、中国電力のシミズです。まず 1 点目 213 ページの透水係数の効果というか、そもそも意味があるのというところだと思います。おっしゃられる通り、かなり高い透水係数になっていますので、
1:19:43	これこれを補強するための緑の地下水排水ドレンという意味でいくと効果としては実際問題としてはあまり期待できないのかなと思っておりますけども、より確実なものにするという意味で、ちょっと念のためということも入ってますし、
1:20:01	絶対これ以上上げないというような姿勢を示すという意味で、ここは記載しているところがございます。2 点目のこの位置付け、緑の排水ドレンの一部系でございますけども当時の当時でこの資料作る段階における考え方というのは、
1:20:20	215 ページの現在の浸透流解析の結果を見るとこれを上げてこれ以上上がってないというのがあったので、念のためというふうに期待しておりましたが、先ほど来ナイトウさんからのコメント等を考えるとですね、
1:20:38	この位置付けをですねもうちょっと上げるというか、明確なものにすべきかなというふうに今現時点では考えております。はい。以上です。
1:21:22	規制庁タニです。
1:21:24	私の方もちょっとこの観測孔について確認させて欲しいんですけど、両方の観測孔岩盤の中まで掘削しているということで、ちょっと本当にもう 2 度の中の吸い取られてるんですかねっていうところなんですけど、これ構造としてはどんな、
1:21:41	そうなってずっとストレナが入ってるんですか、事業から。
1:21:52	はい。中国電力の義次でございます。観測孔につきましては、
1:21:58	岩盤の中というよりは森泥の中の地下水を調べるべきということで、森の中のある程度の高さのところまではスリットが入ったような塩ビ管を入れております。地表面付近につきましてはあまり関係ないということで、その辺りは、
1:22:18	単なる塩ビ管になってたと記憶してます。ちょっと高さ的にどのレベルかっているのはすいませんがちょっと記憶にはないんですけども、ある程度の広い範囲をスリットで入って森の地下水がはかれるようにしていたと記憶しております。以上です。
1:22:34	規制庁とニューズネットですね。岩盤の中にもストレナが入ってるのかどうなのか、要するにこれって、例えば、例えばですけどナンバーの 7 だったら、なんか透水係数がすごく低い旧表土のところを抜いて、下の岩盤の中の水を測っているような、

1:22:51	こう見えてしまうんですけども、その辺りちゃんと盛り盛りだって普通、普通と いうか、間隙水圧検使ったりとか、守り度の中で水観測孔止めたりとか、そう いったことをやられてないのかなというところで聞いたんですけど。
1:23:10	はい、中国電力の義次でございます。
1:23:14	ちょっとやり方すいませんきちんと覚えてないんですけども確か岩盤の少 し下ぐらいのところですね、
1:23:22	水水Eの底盤みたいなものを設けまして、
1:23:29	明らかに
1:23:31	森野のところの地下水図れるような設定をしていたと思います。確かあの、
1:23:38	水圧は上がりますので1メートルぐらいまで下は岩盤のところに確か水位計を 入れて、その下のところの水位が上がらないような設定をしていたと思いま す。以上です。
1:23:56	ちょっとその辺お答え曖昧なところもあるので、今後説明していただけたらと思 うんですけども、本当に盛り度の中をしっかりと水が間隙水圧として図れて いるんですかっていうのが、ちょっと今確認したかったところでした。
1:24:15	私のこれ以上です。
1:24:25	結果説明だけでなく、
1:24:31	説明ですけども。
1:24:34	この海水ドレンっていうのは、までのためっていうのは基本的にもう一本、
1:24:41	この前提条件として、これはもう設置すると。
1:24:45	必ず
1:24:46	そういう考え方っていうふうに、先ほどから機器等っているんですが、そうした 場合ですね、実際にこの排水トンネルっていうのは、
1:24:56	どういった位置付けのいわゆる施設区分っていうかですね、考えてるのかって いう。
1:25:02	っていうまで、今ご検討されてるんでしょうか。
1:25:11	はい。中国電力シミズです。当初この資料作った時には念のためということで あったのでそこまで行動的なものとかですね、そういったものは考えてござい ませんでしたけど、ある、あるとある程度といっちゃいけないと大体申請とかで すねどのような格好でやmm
1:25:31	をとるのかとかそういったところについては今後検討しないといけないのかなと いう程度で検討はまだ現段階ではとどまっています。
1:25:41	以上です。
1:26:08	はい、程度中国電力シミズです先ほどのコメント、若干補足しますと正しい

1:26:15	念のためじゃないというかこれを必須の設備であるということになると先ほど言ったような耐震性とかです。ね、今原子炉建屋の直下で議論になっておりますし、メンテナンスとかです。ね、そういったことも考えていかないかなのかなというふうに思っておりますけど。
1:26:31	ちょっと
1:26:35	ここの設備をバンとリリース設備とするのか、先ほどヤマダの方もちょっとまだ現段階で明確な答えはちょっととなっていないという話をしましたけども、この辺りはですね、ちょっともうちょっと議論を考えてみたいなというふうに、社内的に考えてみたいなというふうに思っております以上です。
1:26:54	社長のナイトウですけども、この前位置付けを明確にしないと言っているわけではなくて、斜面を斜面の安定性を検討消防設計
1:27:08	として検討するにあたって、水は今の検討水位以上やらないということを前提に行くための安定性の 1.2 を満足していますということを説明するという方針で、
1:27:24	あるんですよ。ね、まずはね、そこは、
1:27:26	この方針でいいんですよ。
1:27:29	熟年さんとしては、
1:27:31	15 年度ですはいその通りです。
1:27:34	はい、規制庁ナイトウですけども、であるならば、水位が上がっていないという担保が運用上必要になってくるだけですけども、それはどうやってどう担保するんですかっていうときに、いや
1:27:51	森友中の間隙水圧を図るために口等々、測れるように設定がされている観測水位観測工程監視をしますと。
1:28:05	言うのか。
1:28:08	今面のために書いてあるんだけど、こういう排水工を設けたわけでこれが機能を維持していることによって水位が上がらない。
1:28:19	こっちになるので、実際に測っていないの多く水観測孔でも確認をしますと言うのか、どっちなんですか。
1:28:32	設計上この数以上のところについては斜面テントには考慮しないと言っているときの考慮しない前提条件は何なりで設定をされているのか。
1:28:44	っていうところなんですけど。
1:28:47	そこの考え方がしっかりしないとそれぞれの施設に設備をどういう位置付けにするのかっていうのが進まないと思うんですけど、中国電力さんとしては、
1:29:00	今解析でやっている水位よりも上に NEC が悪いことは考慮しない捨てないという条件は何をもって担保できているというふうに考えているのか、そこを教えてくださいたいんですよ。

1:29:17	はい。中国電力シミズです。最初にも出ていました通り、まずこの浸透流解析の結果をもって上がらないということを担保していることを担保している他を確認していると。その担当として、
1:29:35	地下水低下設備の8月の審査地下水観測孔でそれがわからないということを確認するのかなというふうに思っております。先ほど沢山の方からもありました通りこの世をいっぱいフリードレンを入れたにしても水が、
1:29:55	結果が劇的に下がるんはものじゃないと思っておりますし、先ほどちょっと発言がぶれてるかもしれませんが
1:30:07	上がったときにどういう対応するのって、上がったときのことはどのように考えるのという話がナイトウさんの方からもございましたのでそういったものについてはこれを他の耐震化に諮って、施設としてチェックしていかないかなというふうに思っておりこったのでそういった回答という方をしたんですけども。
1:30:26	横坑方針としましてははっきり言いましたように、まず浸透流解析で上がらないと変わらないことをちゃんと設定等観測孔で確認すると、上がるようなことがあれば、さっきヤマダも申しました通り、もうそれ以上の運転はしないと。
1:30:44	もこういった整理かなというふうに思っております。
1:30:52	施設ナイトウですけれども、あのね、ヤマダさん。
1:30:58	あまり踏み込んで発言されてるのは認識してるんだけどね、今は基本設計とする様に安定性を農水条件として何を条件として考えるにあたって十分な担保取れてますかっていう話だって、
1:31:13	それを超えたときに移動するかって話は、まず置いといて、僕もさっき言い過ぎた部分もあるんだけど、
1:31:21	塀やここの数以上のものについては考えなくていいですという、
1:31:27	担保をまでとりますかっていうところなんですけども、そこはどっちですかってまだ決めきれてないってことですか。もしくは、
1:31:40	No.6とNo.なって、測っていると言っている水でやるってことです。だからそうであればここの水位で監視をして、超えてないことを確認しますので、ということであれば、そこが担保になるんだけど、逆に言うとこれで濁水をこれで観測しますっていう話であれば、
1:32:00	じゃあ、森友中の間隙水圧としての水位をこれでちゃんとはかかれているのかどうなのかっていうのをきちっと説明してくださいということになりますけど。
1:32:10	どういう考えなんですか。
1:32:31	はい。中国電力シミズです。
1:32:35	排水どれ簡単に答えると排水ドレーンに期待する機能を期待してこの水位を維持していくのかということに対しては、そもそも里道の透水性の高いものの

	中に置いた排水ドレンをやってもですね、そこまでの効果というのはあまりないというふうに思っておりますので、
1:32:53	しっかり浸透流解析の結果をお示しして、それで水位はわからないということの説明をしてそれを確認を、地下水観測孔の方で確認していきたいというふうに思っております。
1:33:06	以上です。
1:33:11	年間。
1:33:16	関連でね。
1:33:32	なった場合、
1:33:37	規制庁ナイトウですけれども、今のシミズさんの説明と、浸透流解析の結果に基づいて降水上位は行かないという担保をとるってことですか、浸透流解析はあくまでも解析であって、
1:33:55	これで白黒つけられるものではないと思ってるんですけどそれは白黒つけるつもりですという形で持ち込まれるってことです。
1:34:04	IA中部電力シミズです。地下水観測坑については今お示しているデータの鍵限りというかその範囲の中での話なので、例えばこれ以上の雨が降ったらどうなのかとかですね、そういったことに対するお答えはなかなか説明性も
1:34:24	ないのかなというふうに思っておりますので、先ほど言いました通り、浸透流解析の結果をもってご説明した上でプラスアルファとして、今後、今まであるデータも含めて、地下水がNo.6No.7で上がってないということを御説明すべきかなというふうに考えております。以上です。
1:34:58	はい。
1:35:03	だけど対策。
1:35:05	部分の補足を説明するための指針と理解します。
1:35:13	ここでは、
1:35:15	結局、
1:35:29	性
1:35:32	や家族は政府、
1:35:36	そういった
1:35:39	わかってないってことを監視するのが請願書でそれぞれ相関式だけでいいというのがきちんと理解して、それだけで十分。
1:35:53	協力関係の結果がわからないからいいです実績では、
1:35:57	勝井
1:36:00	設定していく。
1:36:02	それでわからないこと。

1:36:06	いわゆる進めてきちゃうからこうですね。
1:36:17	それなんですけど、何かとか、
1:36:21	わからない。
1:36:27	家族で決める。
1:36:32	施行前
1:36:35	近ければ施工の監視をするだけとしているのは、
1:36:39	別途見通せて、
1:36:42	その見通しに対してはできたって完全ような、
1:36:48	検討して、
1:37:02	この企画規格から、
1:37:06	いや、5 ページ右側の方、
1:37:11	閉めて、
1:37:14	結構、
1:37:23	規制庁ナイトウですけれども、ちょっとよくわからないとよく整理して欲しいんですけれども。
1:37:28	今の段階で未来イソダとして、シミズさんの説明だと未来予測としての浸透流解析をすることによって上がらないということが
1:37:42	確認できているので、
1:37:45	念のため監視をします。
1:37:49	と言っているように聞こえるんだけど、実際の運用を考えた時については、別に浸透流解析そのたびに毎回うまくやってるわけではなくって、監視をしてる水位が想定されるよりも下がってますよねってことだけをずっと追っかけてく、運用上はなってるわけであって、
1:38:10	設計上をシミズた予測とその浸透流解析をすることによってこの範囲で収まるという見通しがあるもので、設計上考慮してる水位に上がる可能性は低いと考えているから、そこで上がってないということを、
1:38:30	営推観測をするだけで運用上成分なんですけど、そういう論理展開じゃない。
1:38:37	そこがよくわかんないんですけど。
1:38:41	すいません私の説明が悪かったかもしれませんが今ナイトウさんがおっしゃられた通りのことを言っておりました。要は未来予想を解くっていう話が出ましたけど 212 ページちょっと見ていただきたいと思うんですけど、浸透流解析の
1:38:57	ちょっと工法あまり丁寧に説明していなかった関係もあるので、ちょっとご説明させていただきますと、212 ページにこれ上のほうの不合理的非地表面水稲固定って書いてあるところが両サイドにあらうかと思えますんでここについては、

1:39:15	水位を固定して、これ定常解析なのでことここを固定して、その後の浸透流海進性と水位はどうなるかというのを森尾内の復水がどうなるかということをやっています。なので瞬時に雨が降った瞬間にどうなって、
1:39:33	どれがどれぐらいの時間ではけてそういうことをやってるんじゃないかとひたひたの状態での両脇を固めて、森ドライウェル水位がどうなるかっていうのをやったのが今のような状態です。簡単に言うと常時もひたひたの状態が両サイドにあってもどうなのかどうかという気がけなるかっていうのを確認したものです。
1:39:50	ここいった要は未来予想というか所Aとか考えられ、今の段階で考えた、こういった推移で遠田地下水おもりどないないということは確認しているんだけど、それをより確実に確認していくという意味で、
1:40:10	地下水観測孔で水位を確認していくと。そうならないことと、それ以上ならないということを確認していくというようなことを考えておりますのでナイトウさんが最後、
1:40:22	言われたようなことを我々としても、先ほどご説明したし今後考えているというところでございます。
1:40:30	以上です。
1:40:43	はい。規制庁ナイトウですけれども、
1:40:48	今もシミズさんの答えて、9億電力下から今どう考えてるのはわかったんですけども、
1:40:57	この資料どこ寄ってもそう書いてないし、
1:41:05	それはおっしゃる通りですちょっとそこは
1:41:10	まず位置付けが
1:41:13	地下水観測孔の位置付けが、今後やりますとかですねそんなことも書いていませんので、おっしゃる通り、どこにも書いてないので、先ほど説明したような内容のものをここに記載したいというふうに思います。以上です。
1:41:31	はい、説明ですけれども、その時に、今No.6とNo.6の観測水位観測孔がさっき持ったり、質問したけど、きちんと埋めるの水頭圧を
1:41:48	2以降になるような考え方の推移加速ができていのかどうかというこの観点から、ここはどういうものなのかというふうになってるのかという、きちんと説明してもらえませんか。
1:42:04	中国電力シミズです。承知いたしました。
1:42:17	規制庁タニです。次にちょっと確認させてください。212ページのさっき説明しました地表面水稲固定の範囲ですね、これは何で決めてるのか確認させてください。
1:42:36	はい、中国電力箇所はですね、ともこちらの

1:42:39	15 円盤につき 15 メーターバーにつきましてはもう全員気が付い人になるというふうな考え方で、下流側につけておりました上流側につきましては梅田の終端付近までは地帯になるようになっていうことで設定しております。以上です。
1:43:01	規制庁タニです。ありがとうございます。MUTOHの終端付近にこれ見えないけど、
1:43:07	何かあるんですかね。もうちょっと左じゃないのかなっていう気はするんですけども。
1:43:20	記憶てんのかします。黒線すいませんこの辺りちょっとあんまり厳密的ではないんですけども
1:43:27	かなり低めに雇っていたんで大体今タニがあったんですが、森とか上がる付近ということで設定しておりますも結果ここ辺が前後してもあんまり影響ないと思っております。すいません。以上です。
1:43:40	はい。中国電力シミズです。も里道崩落雨漏りのがちゃんと含まれているということが一番重要だと思ってますので、この鉄塔もちょっと左側から若干入った若干こう、この絵でいきますと右側の方行ったところ、広めにとっているというような状況でございます。以上です。
1:44:02	はい、規制庁と 2 で説明ありがとうございました。ちょっとその辺の、どうしてここにしてるのかぐらいの説明書きは入れていただけたらと思います。
1:44:14	はい中国電力シミズです。はい、承知いたしました。説明されますか。今の話であれば、多分、
1:44:21	こちらのプラントの方では分水嶺とかの辺まで、どこから水が流れてくるかとかいう話が説明があつて、もっと山の上から来るとかですね、水の流れがこう来るんだよ、地下水の話があつたと思うんで、その辺をも含めてですね。
1:44:37	因果関係をつていうか関係性を説明した方がわかりやすいかなと思いました。
1:44:43	それと余談ですけど、214 ページで、
1:44:48	丁重解析結果で言ったならば、当然
1:44:54	TPマイナス。
1:44:57	アジア+8. 後藤PT15 メーターのところは、初期境界条件として地表面にまで下にしたっているよという話になっていて、
1:45:07	実際の 3 次元解析は公認でまだ設計が終わっていないので、地盤改良程度だけ組織に切った状態がそういうだけ見過ごされられるかわかってはいないけれども、少なくとも、
1:45:23	関係性があるとしたら、これは推測だけだということも、この 3 次元の紫、
1:45:31	色のものがより
1:45:34	左方向にわたって車両購入に追加していくと、いわゆる水がこれは先の部分が高くなっていく。

1:45:43	いうだけであまりこっち、右側の方、車検の方はまで上がってこないっていうことも考えているんでしょうか。そういう前提がちょっとあるのかなという気はするんですけど、このもともとの次、回析を
1:45:57	もう前提として、これはいかがでしょうか。
1:46:04	はい。中国電力鹿島です。今、江崎さんおっしゃった通りで、左側の森のほうは、下の企業名西第二期担っていく傾向 3次元が今後三次の検討が上がっていく近づく傾向があると思いますので、右側につきましては、
1:46:19	あまり斜面の岩盤の中に 3次元のか。
1:46:23	はい。結果の水とどまっておりますけれども、来勝井とかの締め切った影響っていうのは遠くまでおよんでないと思っておりますので、今、二次元の浸透流の結果、岩盤の境界付近まで地下水が変わっておりますので、この期間についてもまだ十分余裕はあるのかなというふうに思っております。以上です。
1:46:45	説明だけですがここ解析条件として、
1:46:49	同様な補正等ということと、ここにある計画の将来予測を含めて相当保守的に考えていたのか考えているのか、条件としてですね、前提として、
1:46:59	この辺もうちょっとちゃんと説明しないと、我々としても、sec解析の
1:47:06	適切さちょっと伝わってこないんで、この辺は十分説明いただけたらと思います。
1:47:13	中国電力鹿島です。承知いたしました。
1:47:23	この解析をやろうと思って、
1:47:33	その水が来たら、
1:47:37	いただきます。サグチてください。
1:47:55	はい。
1:48:02	結構水位が
1:48:05	はい。
1:48:08	こっから北側、
1:48:13	規制庁タニです。
1:48:16	そうですね、ちょっともう私がきちっととれてないのかもしれないですけど補足説明の 57 ページの
1:48:27	今後を、これ、ここで説明していることっていうのをですね、もう 1 回これがどう、どういうことを言うためにつけてるのかっていうのを、
1:48:37	説明してもらっていいですか。
1:48:44	はい。中国電力のUDです。前回のヒアリングでの確認いただきました内容を踏まえてとこの資料を追加しておりますけども、
1:48:56	要は解析結果もですね、試験値範囲内にとどまってるっていうことで、

1:49:03	それを踏まえましてピーク強度イコール残留強度としている設定は妥当なんじゃないかということで考えてます。以上です。
1:49:20	規制庁タニです。つまりこれはひずみの範囲か9%ぐらいだから、
1:49:29	それぐらいの強度しか使わないからっていう話をされてるってことですかね。それと引っ張り強度が出たときに、残留共同
1:49:39	を使うんだという話とどう関係するんですけ。
1:49:48	中国電力によるでございます。ちょっと説明悪かったかもしれないんですけどもPEEK共同東映と男女共同同じ値にしているっていう説明をですね、56ページの方にして、
1:50:01	この理由につきましてはこの応力ひずみ関係見てもひずみなんか傾向が認められない。要はPEEKを確認してからそれから軟化していくようなものが認められないので、まだ75%のひずみの範囲において破壊してない状態だから、
1:50:19	ピーク強度と残留強度イコールにしましたっていうことを説明してます。
1:50:24	実際その解析で出てくるひずみっていうのが、その範囲にとどまっていればいいんですけど例えば解析でもともと大きなひずみが出た場合は、試験値範囲内以降でピークを3日迎える可能性もありますので、
1:50:40	そういった範囲内で回析確認できてますっていうのを、こちらで説明していると確認を考えてます。以上です。
1:51:00	によって、
1:51:11	使っていない。
1:51:14	はい。
1:51:30	なっちゃっちゃったのか。
1:51:35	規制庁タニです。すいません。一つこういうようで、
1:51:40	もし残留共同斜面の解析のときに引っ張り強度買ってるってところが、引っ張り応力発生した要素っていうのがあって、
1:51:51	もし残留強度が違う強度があるんだしたら、それが入っているっていうためがあるんですよ。もってっていう言い方ですけど。
1:52:40	学校は結局、
1:52:47	規制庁刀禰すいません私の質問がすごく悪いんだと思う。補足説明資料で149度とかで、
1:52:53	例えばピンク色が引っ張り応力が発生した要素っていうところで、引っ張り応力が発生したら残留強度を入れるんだということであれど、
1:53:06	このCはこれ、
1:53:12	模擬のところで話さなきゃいけないですねこれ。

1:53:25	温度のところ、引っ張り強度引っ張り応力が発生しているって断面はなかったですか。
1:53:44	すいません。補足説明資料の 159 ページ。
1:53:58	規制庁タニですありがとうございます。この断面で、残残留強度を使わなければいけない区間というのはあるんですかないですか。
1:54:12	中国電力の油井でございます。モデルすいませんもう一度範囲につきまして先ほど来申し上げましたように、ピーク強度と残留強度が一緒なのでそういう設定をしております。例えば
1:54:25	滑り面が書いてあるところにですね営業と旧表土は通っておりますけども、
1:54:33	Qフローも一緒ですね。すいません。こちらの滑り面よりも上側の範囲においてすべて丘陵とともに移動ということで、残留強度を設定していませんので、この中で残留強度として低下した強度を使うものがございません。以上です。
1:54:51	えっとですね、タニですけど、残留強度を使うようなことなんて説明はよくないですかね。
1:55:00	もしピーク強度と残留強度が違う値であったとしたら、
1:55:06	えっとですね、flow引っ張り応力が発生した要素っていうのは残留強度を使うっていうフローだったと思うんですけど、そういう流れになるような要素はあるんですかっていうのを聞きたいんです。
1:55:32	やっぱり結構ですけど、やっぱり
1:55:36	けど、
1:55:39	えっと、すみませんそういった要素があるかないかっていうお答えでいうと、だめにおいては、岩盤以外の部分についてはないということです。以上です。
1:56:01	先ほど、
1:56:19	規制庁タニです。これは引っ張り応力、
1:56:25	の要素も人の中ではなくて、
1:56:30	特にピーク強度＝
1:56:34	残留強度ってしてるっていうその考えは影響しないってことで、
1:56:41	そういう説明でいいですかね。
1:56:51	中国電力野依でございます。ちょっと説明が悪いなと思うんですけど、まず 49 ページで、
1:57:01	ご説明したいんですけども。
1:57:03	補足説明資料の 49 ページでございます。
1:57:10	応力ひずみ関係の模式的なものを二つお示しておりますけども、当島根サイトにおいては、岩盤におきましては左側の図で示しますような一貫ピークの強度を迎えまして、そのあと破壊が起こって、

1:57:27	の強度低下が起こりまして残留強度に到達するっていったそういった結構認められますので、
1:57:33	破壊した要素については、残留強度を設定する。逆に言うと引張破壊とかせん断破壊が起きてないところについてはピーク強度を設定するという設定します。
1:57:45	一方で森につきましては、ひずみ 15%のその試験の範囲において、破壊傾向が認められないので、解析上は破壊の要素ということで引張破壊の予想だったりせん断破壊によって出てくるんですけども。
1:58:01	それはそのひずみの範囲内において破壊してないので、塗装もピーク強度を用いてますという、そういう解析を行ってます。
1:58:10	そうすると破壊領域すべて強度低下を起こささせないのかというそういうわけじゃなくてですね、130 ページをつい見ていただきたいんですけども。
1:58:23	130 ページの左側の図のほうにこういう場合にこういう強度使いますっていうフローをお示しておりますけども、一番右側の強度 0 のところ、これ引っ張りが起こった場合でかつその引っ張り目に滑り面はそういう場合については強度 0 にしますというこういう設定をしてるんですけど。
1:58:42	今切っ森の中でもそういうこういった引っ張り目にそういう滑りについては強度をゼロにするような設定を行って強度低下を考慮してもらって、以上です。
1:59:00	規制庁たび須磨の資料もよく確認させていただきますが、説明ありがとうございます。
1:59:15	そうです。
1:59:17	てるんですけど。
1:59:22	なんだったら別に。
1:59:27	ナイトウでございます専属船舶局所すべて。
1:59:34	発表するわけてくれることになっちゃうと設定した。
1:59:51	39
2:00:07	規制庁のカイダです。ちょっとさっきの地下水の話に戻って申し訳ないんですけど、一つの確認。
2:00:15	といった観点なんです、解析をした断面が、さっきと、
2:00:23	212 ページ。
2:00:25	でしたっけ。
2:00:27	地下水、地表面の出納工程と違った機能が上と下に固定されている。
2:00:34	ここに断面図の 1 とこの実際の断面書いてあるんですけど、まずこの断面図の 1 の平面図のこの示してある線がちょっと間違ってるんじゃないかなというところと確認したいんですけども。

2:00:50	例えば 214 ページ。
2:00:53	見ていただくと、No.7 項っていうのは、
2:00:57	この断面図の位置を示した平面図は、
2:01:01	ダンパのこの在庫断面図は、
2:01:04	端っこの方になるようになってはいるんですけど。
2:01:08	実際のこの断面を見ると、
2:01:11	ダンパ 7 個ってそんな端っこにはなくて、
2:01:15	割と内側の方にあるんで、ちょっとこの位置が正しいかどうかっていう、今ばかりパーに多様な図がですね。
2:01:25	もっと前のページの
2:01:30	何ページか 100、
2:01:33	190 ページですか。
2:01:36	こっちの方は、同じような断面図が出ているけど平面図の
2:01:42	この棒の長さっていうのは、もっと南のほうまで伸びていって、
2:01:47	どちらが正しいのか、まずちょっとここは教えていただきたいんですけども。
2:02:01	はい。中国電力の予備でございます。おっしゃるところ多分 190 ページの方が正しいんだと思うんですけども確認して修正したいと思います。
2:02:11	以上です。
2:02:12	はい、わかりました。
2:02:15	そうそういうことになるんですね、例えば 212 ページの損失等固定されたっていう、
2:02:23	ところっていうのはもうちょっとひよっとしたら南のほうに延びるかもしれないけどこのピンクの建物ぐらいまで伸びると。
2:02:32	そうすっとちょっと先ほどタニの方から言ったかと思うんですけど、
2:02:38	こういったちょっと平のところ割ともっとも
2:02:44	広くあってその平のところの半分ぐらいまでを肯定してるっていうのは、
2:02:50	どういった条件を想定されてっていうことだったか、ちょっともう一度お聞かせ願いたいんですけども。
2:03:02	希望電力の鹿島です。
2:03:04	こちらを含めてこちら各キノコの条件と担保の地表面出納工程の範囲をこちら岩盤の目になりますので、南側に広げる感度っていうのはそんなにないのではないかとはおもっておりますけれども、
2:03:20	改めて先ほど江崎さんの方からもこちらの設計の変化と考え方の取り入れと関係も踏まえてということでご指摘コメントいただいておりますので、うちの方、考え方をですね資料のほうに反映させていただきたいと思います。以上です。

2:03:36	わかりましたじゃカイダです。よろしくお願いします。合わせてですねとちょっとこれも一つ確認になるんですが、断面図 212 ページで断面図が、以浅がもう少し、
2:03:49	南伸びるってことになると、
2:03:51	当然二次元の解析なんで、あんまり
2:03:55	考慮されないんですかと思うんですけど。
2:03:59	ちょうどその、
2:04:00	右側にあるタニみたいな水を集めてきそうなタニ学って、それが森友床ぐらいでちょうど横から何か水を供給者医者いそうな地形にはなっているんですが、
2:04:15	日銀だからやっぱりこういうのは考慮は、
2:04:19	解析の条件には入ってきてないという。
2:04:22	ことでよろしいでしょうか。
2:04:27	はい。中国電力の鹿島です。今カイダさんおっしゃったPODの二次元断面の断面からずれた位置にタニの影響っていうのは入っておりませんが、211 ページをご覧くださいなんですが、
2:04:41	こちらが
2:04:43	結構新液状化地下水の実施の中でご提示させていただいている3次元の解析でございます。こちらが、あと、左側がですね12号炉エリアということで、分水嶺をここ形でモデル化をしております
2:05:00	他で先ほどカイダさんがおっしゃったようなタニ地形の影響というのは含まれております。その浸透流の結果といいますのが、214 ページでいきますと、と紫の線になっておりますので、
2:05:14	今回二次元でこの辺りを岩盤地表面管理機表面を出納肯定するということはですね、このタニ機の影響も踏まえても、より保守的な水準になっているのではないかというふうには考えております。以上です。
2:05:32	カイダです。ありがとうございます。
2:05:34	今そのちょっとそこ言った質問したのは214 ページで、3次元のそういったのを考慮されてるっていうのが赤紫。
2:05:44	これはちょっと赤紫でよろしいんですね、赤紫。
2:05:49	2 事件の方が逆に高く、
2:05:53	赤紫の方が、
2:05:55	被告
2:05:57	山側の辺では低くなってたんで、
2:06:02	ちょっとこの違いがよくわかんないんですよ。ちょっと私もまだ購入変更見ただけではわからないんですが3次元さっきみたいな担任考慮しても、

2:06:14	もう井戸の中の水位っていうのは、
2:06:18	今晚中MISとして、
2:06:20	もう井戸の中はあんまり変わらなかったという結果をここで示されているとそういうことなんですか。
2:06:30	はい。中国電力鹿島です。おっしゃる通りです。以上です。
2:06:35	はい、わかりました。一応、
2:06:38	そっちました。
2:06:57	直接の雛形ちょっと1点確認だけさせていただきたいと思います。200 パワポ 214 ページ、先ほどから排水ドレンの話があって、菅湖排水ドレンを設置すると記載をされてるんですが、先ほどの説明の中には、位置付けを上げるとか構造を今後検討するとか、
2:07:17	いう説明があったんで、このドレンは今から設置をするという、そういう理解でよろしいですね。
2:07:25	以上です。
2:07:27	はい。中国電力シミズですその位置付けで書いておりましたけども先ほど来の議論がありますのでこの位置付けも含めて記載のほうは適正化させていただければと思います。現状あるものではございません。以上です。
2:07:40	はい、わかりました。以上です。
2:07:55	規制庁の服部です。少し事実確認を2点ほどさしてください。簡単な事実確認です。
2:08:02	25 ページのフローなんですけれども、
2:08:09	教員の番号利用数が最多というものが、
2:08:13	これ、こっちの方の設置番手の方は2回出てきます。
2:08:19	一つ目の※の3がついたサイトの方で、
2:08:23	サイト側のものが選ばれていれば、
2:08:26	※の4の施工の最多というのは、もう当たり前のように、その最大になっていると思うんですけれども、
2:08:34	ここであえてここで最多或いは
2:08:38	簡易介護の滑り、
2:08:41	安全率が最初というふうに書いた理由というのを確認したかったんですね。
2:08:45	というのは、
2:08:51	159 ページの方の
2:08:53	斜面のフローのほうには、採択というのが2回出てなくて、1回されたというものを決めてしまえば、あとはそのサイトについてすべて下位滑り法で検討してその最初のを二次元の増加になっていくというストーリーになっていて、

2:09:10	こっちの方がすっきりするような感じがしたんで、なぜ 25 ページのほうは最短のものに変え、
2:09:17	出てくるのかっていうのをちょっと各事業説明してください。いかがでしょうか。
2:09:26	中国電力の乳井でございます。25 ページの基礎地盤の安定性評価の詳細のフローでございますけども、一番左側に記載しておりますように、まず代表施設を選定するってということで一次スクリーニングのようなものを行いまして、
2:09:41	そのあとその代表施設に対して、各施設ごとの検討断面を比較を行いまして評価対象断面の設定をするというこういう二つの手順を踏んでます。
2:09:55	なのでまず代表施設の選定において、基本は委員教員要員で選ぶんですけども、複数のものがあつた場合に簡便法を使うということで、
2:10:05	さらにそのあと評価対象断面の選定で、例えば原子炉でも直交 2 断面と、笠木発電機でも直交 2 断面というふうに断面出てきますので、それを簡便法の大小等で検討しているというそういう流れになってございます。
2:10:21	斜面との違いはそういった違いでございます。以上です。
2:10:25	規制庁の服部です。わかりました。ということは※4 のサイトの方でもう 1 回最短のものを再サイドをピックアップして、その次のステップに進むということで理解をしました。
2:10:39	29 ページ以降にその結果が出ていて、私の理解では米三のときに、
2:10:46	29 ページの 2 号炉原子炉建物等にもタービン建物、あとは 30 ページの排気塔ダクトA防波壁、これらの図あるので、米三のところ、これらがすべて選ばれて、
2:11:03	さっきクマガエの方からちょっとわかりにくいなんて話があつたんですけど、それに 41 ページに飛んだときは、それらがすべて反映されて、当然のごとくその影響要因とする個数というのは最短 2 個目。
2:11:16	なので、この 2 個っていうのは当たり前であつて、これが増えたり減ったりしないのかなと思うことと思つたので、※4 というところは、何でこのような作るのかな。最多というのもしっぱいあるのかなということで、ちょっと確認をした次第でした。今の説明だと、
2:11:33	41 ページのところ、またこの該当する要員が増えたり減ったりするんだということ、理解をいたしました。
2:11:43	それとも、それともう 1 点これは単なる誤記かどうかの確認なんですけれども、
2:11:49	215 ページ。
2:11:53	この上から四つ目のポツなんですけれども、
2:11:57	液状化検討対象外。
2:12:00	となる埋戻し同以外、

2:12:02	の要素の解析用物性値はって書いてあるんですけども、
2:12:07	とちょっと外っていうのが二つに重なるので、ちょっとわかりにくくて、
2:12:12	最初の液状化検討対象外ということの外というのは、
2:12:17	ない方が、
2:12:18	正しいのかなということで思ってるんですけども、これについて、
2:12:23	誤記かどうかの確認だけさせてください。どうぞ。
2:12:28	記憶電力会社です。すみませんこちらの羽鳥さんおっしゃる通り二階がにとって通るとちょっと21件見た形でわかりづらくなっておりますので、液状化対象となる埋戻しと以外ということで修文させていただきたいと思います。申し訳ありませんでした。
2:12:44	規制庁の服部です。わかりました。私からは以上です。
2:12:54	合ってた事業について、すみません私から1点確認させてください。本体資料の217ページと218ページ。
2:13:02	説明の中では、今回の解析では、約17ページですね。
2:13:10	液状化強度特性から液状化強度曲線を赤のものを使いましたという説明だったんですけど、ちょっと確認なんですけど、前回の8月5日版の資料では、解析に使用したから液状化パラメータということで、
2:13:26	そう書くとか、六つのパラメータがあったんですけど、その条件っていうのは変えてない。
2:13:32	ということで理解してよろしいでしょうか。
2:13:37	はい。中国電力鹿島です。おっしゃられた通り日司パラメータは前回も今回も同じもの、液状化の方に係る審議でご審議いただいたパラメータをそのまま使わしていただいております。以上です。
2:13:52	はい、規制庁どちらにするか確認しました。その上でですね、218ページの
2:14:00	課長からですけどやつ分布比の結果なんですけど、これは今回解析をしたらですね、森同
2:14:10	斜面の下のところですね
2:14:13	NEDOの課長柑橘奴分布比っていうのが0.5ぐらいかと、前回の資料見るとですね、0.8ぐらいだったんですけど、許可強度と強度曲線がですね、良くなったのに、
2:14:30	この結果からちょっと改善したっちゃうのがちょっと理由が何かあるのかなっていう辺りについて説明いただけますか。どうぞ。
2:14:39	はい。中国電力の鹿島です。前回ご提示させていただきました217ページの液状化強度曲線のほうが、高いものを使って効果よろしくものに戻しました結果、

2:14:53	今回のほうが剛性としては、液状化の審議の中でご説明させていただきましたN値に基づく剛性というのを設計して、そのままのものを使っておりますので、日立 15 円盤につきましては今回のほうが液状化の 0.95 を上回る場合は、
2:15:11	広がっているんですが、斜面のほうは先ほどおっしゃられたように、過剰間隙水圧が若干小さめに出ていると、こちらはクラック剛性の変わったことにより応答特性の変化が変わったことによる影響ではないかというふうに考えております。以上です。
2:15:30	はい。規制庁どちらにする。わかりました。合成の影響ということで確認しました。先ほど繰り返しなんですけど一応パラメータとかその辺を言ってなくて、ここの強度曲線だけをいじって、
2:15:46	なんか変更してそれでの剛性が変わったことによって結果変わってると、そういうふうに繰り返しました。はい。私からは以上です。
2:16:10	規制庁のスガヤです。
2:16:12	ちょっと細かい話になってしまうんですけど、ちょっと
2:16:16	記載の適正化みたいな話なんですけど、本編の 132 ページをお願いします。
2:16:26	132 ページ基礎底盤の経営者ということで、あの表とあと箱書きが下に書いてあるんですけど、言葉の使い方なんですけど、評価基準値の目安って表のほうにはなってるんですけど、下の文章ではその目安っていうのがちょっと抜けてしまってたので、
2:16:42	評価基準値である一/二千っていうところを評価基準値の目安である一/二千っていうか、正確だと思うので、ちょっと
2:16:51	気をつけていただければと思いますので、その上と同じようにして地震動による最大傾斜の重ね合わせのところでも一/二千っていうのは出てくるんですけど。
2:17:02	152 ページ。
2:17:06	ここも同じような記載になっているので、この機会にちょっと直していただければと思います。以上です。
2:17:15	中国電力清水です。承知いたしました。
2:17:28	規制庁クマガエです。
2:17:30	それからもう 1 点だけ確認させてください。
2:17:33	斜面の評価そのものの中で、
2:17:37	160 ページのところありますけども、
2:17:41	こちら
2:17:43	それについては影響要因①のところでも地形等についても確認するとされてますけども、社員の方については特にそれは、

2:17:51	地形等については追加されないということによろしいですか、考え方だけ教えてください違いを教えてください。
2:18:01	はい。中国電力の野依でございます。社基礎地盤については地形の急傾斜等を考慮してますけども、斜面につきましてはすでに斜面の高さ勾配ということで地形の予想入っておりますのでこちらで考慮できていると考えております。
2:18:17	以上です。
2:18:18	規制庁クマガエです。例えばこの高さとか勾配のところでは何か特性とかがあればそこについても確認されてるということによろしいでしょうか。
2:18:30	中国電力よりです。おっしゃる通りでございます。以上です。
2:18:34	はい。規制庁クマガエです。
2:18:36	確認できました。あと
2:18:39	資料の誤記の記載だけなんですけども。
2:18:43	49 ページのですね、一番上の
2:18:46	タイトルの記載のところは、
2:18:49	逆TAOTとなっているので、この多重更改
2:18:52	用地だと思しますので、そこだけが修正をお願いします。
2:19:00	中国電力李です。承知しました。
2:19:30	規制庁クマガエです。すいません。もう一つだけ私からいいですか。ごめんなさい、本編 100、109 ページのところは、
2:19:36	②番のところはその滑り面の設定で上がる切り上げ滑り部分と切り下がる滑り面とあるんですけれども、この
2:19:44	期で上がるですねイベント切り下がるセグメントだと、どっちをどのように設定されてるのか教えてください。
2:19:54	中国電力の油井でございます。この 109 ページの例で言いますと、2 号炉原子炉建物の南北断面でございますけども、来系統シームの傾斜が北傾斜で、紙面でいうと左側になりますので、
2:20:11	右側のパラスタのところは切り下がりで左側のパラスタのところは切り上がりということで記載をしております。以上です。
2:20:32	規制庁クマガエです。すいません。
2:20:37	今のお話はつまり、
2:20:40	建物の影響範囲と地表面の交点の固定点というのが一番左側のところにありますけど、
2:20:48	これが切り、
2:20:50	切り上がりでよろしいんでしょうか。切り下がる。

2:20:55	中国電力李です。おっしゃる通りです。シームの傾斜が来たのもできた方向に滑るって考えたときに、今おっしゃったようなところが時り上がりになると考えてます。以上です。
2:21:08	地域である。
2:21:17	規制庁クマガエですそうすると、
2:21:21	190、
2:21:22	8 ページのところ、今度斜面の
2:21:26	方の滑り面の設定だと、こちらは切り下がるじゃなくて切り上がるなんですか。
2:21:37	中部電力のよりです。198 ページで言うと切り下がりになりますので、ここの文章のところ切り上がるって書いておられますので、修正したいと思います。以上です。
2:21:52	はい。規制庁クマガエです。
2:21:54	わかりました。ありがとうございます。
2:22:17	規制庁サービスすいません私は基本的には気を配ってなかったんで、ちょっと教えていただきたいんですけど。
2:22:26	今、今ほど、結構何ていうんすかね。皆さん確認のところ、4 条 4 項の確認をされてると思うんですけど。
2:22:33	これ 1 関係でと、三条 2 項との関係ってどう考えたらいいのかちょっと教えていただいてよろしいですか。
2:22:51	中国電力の油井でございます。本編資料のほうの 5 ページに、各条文要求との対応ということで確認内容を記載してございます。
2:23:04	おっしゃる三条 2 項のところ、5 ページの上から 2 行目になってくると思いますけども、この対応としては 4 章、5 章のほうに、
2:23:17	地殻変動解析でございまして、そういったところをちょっと記載しております。以上です。
2:23:30	はい。きちっとサービスありがとうございました。やっぱりちょっとそういうふうの確認をさせていただいたということですね。218 ページで、
2:23:45	課長間隙水圧比とか、高いところが
2:23:50	液状化の可能性が
2:23:52	高い。
2:23:54	草加せている部分。
2:23:56	という理解でまずよろしいでしょうかね。
2:24:03	はい。中国電力鹿島です。おっしゃられたおっしゃる通り添付損益赤いところってというのがその過剰間隙水圧過剰間隙水圧比が 0.95 を超えるところなので、液状化する可能性は高いというふうに、

2:24:18	判断して、そのような評価をしております。以上です。
2:24:23	はいサグチさんありがとうございます。そうすると細かい部分って本当に号炉 とってはもう1じゃないんですかねと思ったんですよ。
2:24:32	なので、ちょっとSERP三条、
2:24:35	2項と思い温度4項の関係、
2:24:39	重要施設等の位置関係も含めてですね、っていうのをちょっと教えていただき たかったんですけど。
2:24:51	中国電力の入江でございます。本編資料の137ページをお願いしたいんです けども。
2:25:02	こちらに三条2項の評価の内容を記載しております。例えば2号炉原子炉建 物の直下につきましては、岩着させておりますので、岩盤であることを確認し ております。岩盤だから液状化の
2:25:18	恐れはないということで整理してございます。137ページ左側に平面図がある んですけども。
2:25:26	赤色で塗ってるところが原子炉内ですからその左側に埋戻しがあります。あ りまして、
2:25:32	先ほどサグチさんおっしゃった断面というのは、こちらを聞いたためになります ので、見戻し度として評価したときに、過剰間隙水圧比0.95以上ということで 確認しているものでございます。
2:25:45	以上です。
2:25:49	Highサービスですありがとうございました。1款位置的にちょっと値違う違うと いうところでよろしいですよ。
2:25:59	中国電力入江です。その通りでございます。以上です。
2:26:03	はい。サービスありがとうございました。
2:26:52	わかりました。
2:27:26	規制庁クマガエです。はい。いろいろと確認させていただきましたけれども、ま ずこちらの方から特にいろいろ確認させていただきましたので、あとは中部電 力さんの方から何かの確認したい点等あればお願いいたします。
2:27:46	特にこちらからはありません。以上です。
2:27:51	はい、原子力規制庁クマガエです。
2:27:53	それではこれもちまして、島根原子力発電所2号炉耐震重要施設及び常設 重大事故等対処施設の基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価ヒアリングにつ いて終わりたいと思います。ありがとうございました。
2:28:09	ありがとうございました。